

熊退教協 ニュース

発行所
熊本市中央区九品寺1丁目11-4
熊本県退職教職員等協議会
(代)372-1500
編集者発行人
田川勝也
印刷
コロニー印刷
☎353-1291(代)

No. 106

会長就任にあたって

松田 道雄



6月8日「熊退教地区代表・女性代表者会」で会長に選出されました松田です。二〇一〇年に退職し、菊池退教に所属し、これまで主に連合運動に関わってきました。代表者会議では各地区から熊退教に要望意見が出され、退教に対する会員の様々な思いが感じ取れました。翌9日、日退教組織代表者会議が日本教育会館で開催されました。隔年開催の二年目の会議ですが、当面の活動(案)が山盛りです。熊退教の方針案でも多すぎると言われました。

二〇二二年度 地区会長・女性代表者の会報告

熊退教協 事務局 桑本 謙



去る六月八日、県教育会館に於いて地区会長・女性代表者の会を開催しました。今年度は、定期大会を開催しない年であり、最高決定機関の場として活動方針案等を協議していただきました。田崎副事務局長の開会宣言に続き、議長を宇城地区堀さん、八代地区松岡さんと決定。まず、今年度で勇退予定の田川会長が挨拶に立ち、新型コロナウイルス禍での各地区活動とこれまでの8年間のご協力への感謝を述べました。続いて、来賓として県教組の村枝新委員長より学校現場の状況と力強い連帯のご挨拶をいただきました。

が、その比ではない。現役時代も日教組運動方針案の膨大な量に全部よみこまなかった記憶があります。どれも大事ですが、本当にやらなければならないことに絞って、県退教運動を進めたいと思います。

就任後、最初の仕事が参議院選挙のとりくみでした。各地区役員の皆様には大変ご苦労をおかけし、感謝します。我が家のとりくみ。期日前投票に向かう妻「立憲」よね！違ふ「古賀ちかげのリーフ」を持たせる。息子：娘、写メールでリーフを取り込んで。遠く離れた娘にはラインでポスターを送る。そうだ妹にもラインだ。新聞が発行される時は、結果が判明していると思います。「古賀ちかげ」当選をみんなで喜び合っていました。次は県議選「岩田智子」を当選させなければ！住みよい世の中にするにはまだまだ続きます。ご協力をお願いします。

統一地方選に向けて 岩田県議への応援要請

熊退教協 前会長 田川 勝也

岩田とも子県議の三期目への挑戦に向け、会員の皆様に再度の御支援をお願いいたします。

岩田県議の最初の出馬に当たり熊教組より推薦依頼を受け、現職の委員長であり、更に組織の現状等を考慮し、一瞬大丈夫かと懸念したのも事実です。同時に熊退教協としてやるしかないと思いをくくったのも事実です。選挙選は一からの出発で、日教組や連合熊本、会員の皆様の御支援で何とか当選させることができました。二期目も議会活動等で培った体験を糧に、議会質問等で教職員の働き方改革弱立場に置かれておられる人に寄り添った施策の提言を行っています。2016年に発生した熊本大地震では一早く被災地に向き復興支援に汗を流されました。県内を中心に発生した集中豪雨にも支援に奔走されました。現在は新型コロナウイルス禍で活動も制限されがちですが、県政報告会を通じて日々活動を続けています。



の長期展望に立った計画的運営
③ 会員減や災害等を考慮した財政面での経費削減努力
④ 長寿記念品の是非については各地区の要望を受けて対応する。
等の四点が出されました。

採決の結果、すべての議案が承認されました。また、協議では、会員減少の中で役員改選の厳しさ等について質疑が交わされ、今後の課題として、
①年間活動方針の整理と簡素化
②スムーズな役員改選ができるよう本部体制

新会長が、「おかしいことはおかしいと言え、組織でありたい」という訴えの後、久しぶりの団結頑張ろうで、会は終了しました。各地区の皆様のご協力への感謝と、いただいたご意見を今後の活動に生かすことをお誓いして報告いたします。

来春施行される県議選はこれ迄に増して厳しい状況が予想されます。会員の皆様の更なる御支援をお願いいたします。

退任のごあいさつ

熊退教協会長として八年。熊本大地震、集中豪雨、コロナ禍と経験したことのない日々でもありました。この間会員の皆様の御協力御鞭撻で職責を終えることができました。心より御礼申し上げます。2020年度から新執行体制が開始します。岩田県議の三期目の当選と熊退教協の更なる飛躍を祈念し、御願いと退任のご挨拶いたします。

ごくろうさまでした

田川前会長さんは、副会長四年・会長八年の計十二年の長きに亘り、熊退教協の先頭に立って運動を推進してこられました。心から感謝申し上げます。

なお今後は、「顧問」として引き続き活動宜しくお願いいたします。
(編集部)



自寿おめでとございます

「痛快々々比率四の五も言いさらん」
下手な俳句に足を突っ込んだのも先生の影響があるのかもしれない。今思い出すのは自転車で河内、金峰越えをしていた事。本当に若かったなあと思う。
光陰矢のごとし
歳月不待人
人々の善意に支えられて百才のゴールを目指します。



小学生時代の思い出
中路 哲郎
小生が通っていた力合小学校は、総数五十名の程の小さな学校だった。登校、下校時には直立不動、御真影に向かって最敬礼をしたものだった。五、六年生の担任だった坂井先生は、当時の(太平洋戦争前)日本の情勢を次のように狂句に詠まれている。
た。

「ウクライナ支援カンパ」への協力をお願い

副会長 工藤 征子

6月8日の第1次集約では、6地区からの協力で104,568円集まりました。協力下さった会員の皆様ありがとうございました。ロシア軍の蛮行は厳しく糾弾しなければなりませんし、ウクライナへの支援活動は、息長く続けていかなければならないと思っています。熊退教協は、日退教からの提起でウクライナの子供達の命とくらしを守り、教育を支援するために、カンパに取り組んでいます。皆様からいただいたカンパは教育国際ナショナル(EI)と、国際労働組合総連合(ITUC)を通してウクライナの子供達の教育復興のために使われます。

機会あるごとに地区で集められ、県の方へお届けいただくと助かります。どうぞよろしくお願い致します。

ウクライナ危機に乗じ、一部の改憲勢力が暗躍し始めました。きわめて危険な動きとして、私達は警戒していく必要があります。「教え子を再び戦場へ送るな」結成時からの合言葉です。熊退連は8月15日終戦の日の正午、サイレンの合図と共に辛島公園で、毎年平和集会を開催しております。炎天下ですので30分ほどの集会です。どうぞお集まりいただき反戦の誓いを胸に刻みたいと思います。

